

広報

びがしゅら

豊かな自然みんなで
拓く町 伸びる町

1989—4
No. 409

平成元年4月1日発行・毎月1日
編集・発行 / 秋田県東由利町役場総務課

- みんなで育てよう新農村東由利
今年は何をやるか！
いきいきとした活力ある
町づくり5つの柱
- 議会定例会
- 一般会計26億3千万円
その使い道は？



巣立ち



▲春は巣立ちの季節。今年の中学卒業生は男子三十六、女子三十八人の計七十四人で、七十二人が進学、二人が就職へと学舎から巣立っていきました。写真は卒業式(三月十四日)を終え先生や在校生との別れを惜しむ卒業生。

平成元年度予算が3月定例町議会で承認されました。

今月は、町長が述べた施政方針説明と、新年度の一般会計予算（8・9面）についてお知らせします。

今年は何をやるか！

みんなで育てよう新農村東由利



新規事業 ダイジエスト

- 町政PRビデオを制作
- 「明日の地域を考える町民の会」を設置
- 温泉探査を実施
- 八塩地区開発基本計画を策定
- 4歳児の健康診査を実施
- 火葬場を建設
- 野球場を建設
- 良質米生産技術指導員を設置
- 自給飼料貯蔵施設等の設置を推進
- 館合地区に集会施設を建設
- 八塩ダムにつり橋を建設
- 造林コンクールを実施
- ふるさと出会いの森を設置
- 東由利中の大規模改修工事を実施
- 町教育研究所に専任の教諭を配置
- 東由利町史を刊行



平成元年度は町村制が施行されて以来一世紀を経過し、百一年目の新しい節目のスタートの年となりました。新しい平成の世代を迎え、その初年度が奇しくも町村制二世紀目の初年度となったわけであり、いま地方自治をとりまく環境は厳しく、特に近代社会の変貌する様は年を追って加速化し、町村行財政への影響も多種多様となりました。この現状を踏まえながら、やがてくる二十一世紀への基盤を整備し、二十一世紀に向けて的確な指針づくりが模索されている時代であります。まさに、今日は地方自治変革期の大きな節目を迎えているところであり、この時にあたり、いま地方公共団体に強く求められているものは、地域社会の活性化と住民福祉の向上を図るための行政改革であり、そのための自主性、自立性の確立であります。シャウプ勧告以来四十年間続きました我が国の税体制の抜本的な大改革が断行されました。本年度は、二十一世紀に向けてのその新しい税制時代のスタートの年となりました。

いま、国民一人当たりの国内総生産（GDP）は先進七カ国の首位となり、経済大国日本として世界から羨望され、国内市場の物資は溢れるほどの豊かさとなり、国民平均寿命は年々更新され、世界一の長寿国となりました。いま我が国は対外的には自由経済のもとで市場開放を求められ、世界の経済大国としてまた先進国として世界への貢献を強く望まれており、世界への責任分担を迫られております。高齢化社会の進行に伴う対策など、国内的には緊急に解決を要する多くの問題を抱えておりま

であります。それぞれの町村が出来る限りの知恵と精一杯の努力によって創り出されるところの、地域の実情に即応した「手造りのふるさと創生」が望まれております。地方にはその地方のみ有する特色があります。美しい大自然に恵まれた地形、地物。清純な人間関係と環境。先祖伝来の地場産業と伝統芸能。歴史的な遺産等でありま

業が完工いたしました。これにより畜産振興のための大プロジェクト、基盤整備事業が終わりました。昭和五十九年に既に終えた稲作振興のための基盤整備、圃場整備事業の完成と相まって、まさに「稲作プラス畜産」の町づくりの基盤が出来上がったこととなります。二大基盤整備事業の完工によって、農業立町としての東由利町は、まさに新しい農村時代の正念場を迎えることとなりました。いま、私は将来に向けた町づくりの行政指標として「出羽丘陵の自然と調和したモデル農村づくり」を目標と

となつてまいりました。農村東由利町に住むための生活基盤、つまり営農と生活が一体的にしかも有機的に機能する理想的な農村を建設していかなければならないと考えております。これが私の指標として「出羽丘陵の自然と調和したモデル農村づくり」であります。このような基本認識に立ちながら、予算編成にあたっては新規事業を積極的に組み入れ、財源措置上可能な限り前向きに積極型予算編成といたしました。予算編成にあたって留意した基本的な事項は次のこととなります。

町長 施政方針 説明 ①

出羽丘陵の自然と調和したモデル農村づくり

す。これらの問題は当然のことながらそのまま地方自治体への影響が大きくなり、それがまた地方自治体がかねてより問題でもあります。農産物の自由化の方向に対する農村施策、高齢化社会に対する福祉行政施策など、緊急な対応が迫られているところであります。このような現況下において、それぞれの地方自治体の今後の行政課題として大きく取り上げられているものは何か、最も求められているものは何か。それは個性ある地域づくりであります。それぞれの地方自治体の自主性であり自立性

を進めてまいったところであり、す。「活力と潤いのある地域社会」を目標に諸施策を実践し、ひとつひとつ積み上げてまいりました。やがてまいります二十一世紀の時代を間近にひかえ、今後行政に求められる大きな行政課題があります。それは「ゆとり」ある生活をするための「ゆとり」対策としての行政施策と、「生きがい」のある生活を営むための「生きがい」対策としての行政施策だといわれております。

してまいります。したがって、我が東由利町の町づくりはすべてこの指標に向けての諸施策の実践にあります。いま東由利町は町のおかれている地勢、特質を生かした町づくりとして、稲作プラス畜産の二大基盤整備事業を終え新しい局面に立っております。私はこの局面を「出羽丘陵農業新時代」と捉えて、新たな決意に燃えているところでもあります。

出羽丘陵の中にある農村東由利という地域的な特質を生かしながら、これからはこの町に生きるための実質的、具体的な施策が重要

以下、重点施策を中心に予算編成の概要と新規事業についての要点を説明申し上げます。（次ページに別記）

いきいきとした活力ある

町づくり

の柱

1 健康で明るい
福祉の町づくり

新年度は長年の懸案でありました勤労青年層のニーズに応え「勤労者体育施設（野球場）」を建設することになりました。また町民の健康増進意識を更に高めるため「町民健康大会」を実施し、健康づくり、体育の町としての位置付けを高めてまいりたいと存じます。また長寿社会における体力向上のために、昨年度購入しました「けんこう号」の活用による高齢者層の健康増進センターの利用などを更に強化してまいりたいと存じます。

家族生活の円満を願ひ昭和六十二年以来実施してまいりました「敬老祝い金制度」「結婚縁組世話人報奨制度」「重度身体障害者移送費給付事業」、更には特別養護老人ホーム東光苑を活用しての「在宅老人デイサービス運営事業」などを一層効率的に運営し、奉仕活動の強化を図ってまいり所存です。また昨年七月から新規に実施してまいりました「高齢者サービス総合調整事業」は、保健、医療、福祉の一元化を図り、在宅福祉の向上を図るものであります。今年には更にこれを強化してまい

2 快適で住みよい
生活環境づくり

過疎化の進展はいまなお続いておりますが、ここ数年來町内における若者の就労の場の確保が進み、更にはかねてより町内にあります地場産業の職場環境の改善も目立ってまいりました。また、基幹道路の改良整備が進むにいたが、隣接拠点都市への通勤生活の町民も増加してまいり、定住化が進んでまいりました。このような環境条件が整うにいたが、当然のことながら文化的な生活環境整備を望む声と近代的な文化水準、都市的機能を求める生活環境整備への要望が強くなつてまいりました。そのために本年行う事業の主なもの、①昨年来進めてまいりました「緑地等利用施設整備事業」の継続であります。これは第三期山村振興計画に基づく国の補助事業であり、八塩ダム周辺の整備事業として行っているもので、新年度はつり橋の架橋などによりダム一周道路が完成することになります。②「八塩自然休暇村整備促進事業」として、町単独事業で八塩ダム周辺の給水事業、駐車場、小憩施設などを整備することになりました。③「台山地

3 より良い生活をめざす
産業基盤づくり

新年度は水田農業確立対策第三年目を迎え、今年で前期対策を終えることとなります。明年度からは、行政主導から生産者及び生産者団体主導で行われることになることから、稲作農業の方向づけがより大事な年となりました。

我が町では一昨年来、良質米生産に指導を強化してまいりましたが、昨年度は「あきたこまち」と「ササニシキ」合わせて七八・六割の作付けとなり、本年度は更に良質米作付けが九〇割以上の見込みとなりました。やがて来るであろう米生産競争、産地間競争の時代に備えて、良質米生産のための技術指導の強化の必要性を痛感しておるところであります。そのために本年は「水稲生産対策事業」の強化を図り、展示圃、調査圃の設置のほか新規事業として「良質米生産技術指導員」を委嘱し、良質米としての「あきたこまち」と「ササニシキ」の生産技術指導を行うことにいたしました。

畑作振興につきましては、本年は他町村に比して立ち遅れております野菜栽培の振興に、更に努力してま

4 地域発展をめざす
道路網づくり

まず国道一〇七号線は一昨年から本格着工となり、本年度中に根城館橋まで完工し、懸案でありました根城坂の難所が解消されることとなります。また昨年から本格着工となりました奥ヶ沢工区は、本町の宿地区から工事が進み、本年中に根城館橋付近から幅野橋を経て大琴集落入口までの区間が竣工し供用される予定であり、更に大琴バイパスの改良が進み舟木地区の用地補償が進むこととなります。

県道関係では▼檜淵・横渡線は本年度中に残工事を終えて完成する予定となりました。▼山崎・鴻屋・十文字線の柴倉地区から山崎地域に至る間の残工事もすべて完工する予定となっております。▼神岡・坂部・横渡線は白沢トンネルの完工によって交通量が増大し、懸案であります岩館バイパスの早期着工が強く望まれておりますので、県土木部に対して本年度中に具体案を示し、本格的に着工に向けての作業を急いでもらうよう強く要請いたしております。▼仁賀保・矢島・館合線については、国道一〇七号線と結ぶ館合バイパス

5 人づくりのための
文教環境づくり

これまで我が町は教育環境の整備に力を入れてまいりましたが、町づくりの基礎づくりとして教育に重点をおき、住みよい環境づくりのためにも公民館活動を中心として社会教育環境整備にお一層力を入れてまいり所存であります。

まず学校教育関係では、統合中学校として建設以来の、東由利中学校の大規模改修工事に着手することといたしました。二カ年継続事業で完成する予定で計画を立てております。また、同中学校の物置工事、寄宿舎の修繕工事、サッカーグラウンドの



ることになりました。

昨年度は町民の健康管理の向上をめざし新規に「五十歳一日人間ドック事業」「大腸がん検診事業」を取り入れ、かねてより実施しておりました四十歳、六十歳の厄年検診とあわせて成人病の早期発見、早期治療に力を入れてまいり好評を得ておりますが、今年は受診者の向上に一層努力してまいることになりました。幼児期の健康管理については、昨年度新規に「二歳児健康診査事業」を取り入れ強化いたしました。今年度には更に「四歳児健康診査事業」を取り入れ、小学校入学一年前の幼児の、特に歯科衛生についての健康診査を強化することになりました。

なお昨年度以来調査費を計上し進めてまいりました「火葬場」の建設に着手することになりますが、町民福祉のために新しい時代にふさわしい設計のもとに建設したいと存じます。



区文教スポーツレクリエーション整備事業」として駐車場の整備をはじめ、昨年に引き続き台山周辺環境緑化整備を行うことになっております。④館合地区の多目的集落施設としてコミュニティセンター・仮称「玉米館」の建設を、国庫補助事業により農村総合モデル事業の特認事業として建設する計画であります。これにより全町全域にコミュニティセンターの建設が終ることとなり、生活環境の整備が一段と進むことになりました。⑤新年度からモデル事業により集落排水事業に着手し、老方地区集落排水工事に入ります。⑥一昨年から計画実施してまいりました「防犯灯設置事業」を二十基設置し、明るく犯罪のない地域づくりを一層進めることにしております。そのほか観光協会におけるイベントなどを強化拡充するための助成と育成指導を行ってまいり所存であります。



いる所存です。

畜産振興につきましては、「肉用牛増頭対策」「肉用牛地域一貫生産推進」など従来以上に力を入れてまいり所存であり、また粗飼料基地の完成と相まって貯蔵施設設置推進を図ってまいりたいと考え、本年度は「自給飼料貯蔵施設等設置推進事業」を新設し、経営の合理化に一層力を入れることになりました。また、町営の放牧場運営事業を強化いたしまして、畜産の質的向上を図ってまいりたいと存じます。出羽丘陵開発事業の完工に伴い本年から借入金償還が始まりますが、出羽丘陵開発事業営農等円滑化推進事業として「出羽丘陵団地代表者連絡協議会」を新設し、畜産振興の新たな段階を迎えての適切な指導強化を図ってまいり所存であります。

林業振興策につきましては、従来から実施してまいりました林業振興事業のほか、本年は昨年度から調査を進めて準備してまいりました「ふれあいの森」分収林事業を実施することになりました。「東由利町ふるさと出会いの森」設置事業として分収林を設置するもので、町有林を所有者と共同で林業経営し、山村と都会とのふれあいを深めながら観光林業としての位置付けを高め、更に地域経済の振興と町おこしに役立てようとする事業計画であります。

の着工について、昨年来関係者の協力を得るための作業を急いでおりましたところ、そのメドがついてまいりましたので、本年中に用地買収と補償の作業に入り、いよいよ着工の段取りを取りつけることになりました。石高から大吹川に至る間は県単事業として着工に入ります。また大吹川、須郷間の残工事については本年度中に完工する予定であります。

▼県道羽後・向田・館合線の旧住吉小学校前の改良整備は、九年にわたる中断期間を経て本年中に改良工事を再開することとなり、本年中に完工できるような県に強く要請しております。▼広域農道高村線は、昨年度の災害による災害復旧工事を終えたので、本年度中に高村集落までの改良工事を終了し、明年度中には舗装完了できるよう強く陳情を続けております。

町道関係では、県代行路線として採択していただくために進めております跡見坂・新田・須郷田線が本年中に用地買収と補償をすべて完了し、明年度着工ができるように準備を進めてまいります。また継続して工事を進めております団体営農道深山地区、坪倉地区、鞍骨地区、杉森地区は、それぞれ国の補助事業として計画通り促進いたします。このほか県単事業として農免農道鳥台線、団体営農道若林線、町単事業として大落線の新規着工を計画しております。なおモデル事業として国の補助事業で進めております集落道路整備も継続して促進してまいります。

設備工事を行うことになりました。社会教育関係では、体力づくり事業をはじめ地域における家庭教育事業、青少年教育、婦人・成人・高齢者教育に一層努力してまいりたいと存じます。

なお本年はいよいよ町史編纂刊行の年となりました。これを機会に郷土東由利を見直し、再認識しながら、町民こそって町発展のために町づくりに貢献することを誓い合いたいものと念願しておる次第であります。付け加えますが、かねてより運営しておりました町教育研究所の充実強化を図るため、専任の教師一名を増員配置するよう、県教育庁に強く要請中であります。

以上、重点行政施策の説明を終わります。以下平成元年度一般会計当初予算の概要についてご説明申し上げます。

(新年度予算は八、九ページに掲載)



議会定例会 一般質問

町議会定例会が三月八日から十八日までの会期で開かれました。初日は町長の施政方針説明、一般質問のほか昭和六十三年一般会計補正予算案など十四議案を上程し可決したほか、新年度の各会計予算案を常任委員会に付託しました。このほか会期中は東由利町ふるさと出会の森設定条例案など十七議案を原案通り可決、承認しました。以下、一般質問と可決された主な議案について、概要をお知らせします。

町放牧施設の不足を痛感

民間施設へ助成の考えは

町営朴の木沢放牧場は畜舎の収容能力が現在三十頭ですが、今年には施設の増築などを検討し収容能力を四十頭まで上げる計画です。民間施設への助成については傾聴に価するご意見ですが、いくつかの問題点もあり、先進地の実態等をよく検討し今後の課題として捉えていきたいと思えます。

子牛販売後の追跡調査を

町畜産指導センターで一昨年追跡調査を試みたことがあり、その結果本町産の和牛の優秀性が実証される結果が報告されています。生産技術の改良等に資するためにも、今後も実施していきます。

消防団第一分団へのポン

プ自動車の配置について

地域の要望に応えられるよう、配置方を前向きに協議、検討していきます。

国保税はなぜ値下げ

できないのか

一人当たりの医療費は年々増えており、法の抜本的改正がない限り現行制度では値下げできないのが実態です。平成元年度は基金を取りくずすことにより税を値上げせず、町民負担を控え健全運営を図ったところです。基金は当該町村民療費の三ヵ月分の積み立てが必要とされています。本町では現在約七千万円の基金があります

が、指導基準によると一億円が必要とされています。今後とも可能な限り基金を取りくずしながら、町民の負担を控えたいと考えています。

消費税分の水道料を

値下げできないか

本町の水道会計は一般会計からの繰入金で補填している赤字財政の特別会計で、借入金の償還金も年々かさむ実情にあります。現行料金はしばらく据え置くものの、消費税は加算していきたいと思えますのでご理解をお願いします。

無形文化財保存伝承の

援助について



これまで公民館活動を通してビデオテープ保存などは行っていますが、継承のための計画的なものになされておらず残念に思っています。幸い地域によっては真剣に継承保存に努めているところもあり、そうした地域には「地域手づくり事業」として奨励金を交付し大いに賞揚しているところです。今後とも保存伝承についての具体的な計画がある場合は、援助、助成、助言を惜しまない考えです。

地方税法改正等による

町の税収予測を問う

町民税は昨年の冷害等によりほぼ一割の減収が見込まれます。法人税は前年実績を下回らない見通しです。固定資産税は税改正がないため大きな変化はない予想です。たばこ消費税は「たばこ税」となり税率が改正となったため、前年度比で約九五割の見込みです。電気税、木材引取税は税法改正により廃止となります。

町の三大まつりとして

「牛まつり」の実施を

かねて部内でも検討していたところであり「黄桜まつり」「大平雪まつり」のように定着させるための具体的検討を、実施に向けて行いたいと思えます。

可決された主な議案

ふるさと出合いの森を設定

町有林を活用し都市と山村のふれあいを深め、林業を通じ地域経済の振興と町有林の整備拡充を図ろうと「ふるさと出合いの森」を設定しました。これは町民以外の希望者を特別町民に設定し、町有林の立木にかかる費用や収益を町と特別町民が五〇％の割合で負担・分収するもので、契約期間は二十二年です。宿宇寺山(二箇所)、三ツ森下の三箇所を設定しました。

出羽丘陵開発事業に係わる農業用施設などの財産を取得・処分

出羽丘陵開発事業で整備された三十六団地の、幹線・支線道路などの農業用施設及び農機具などを農用地整備公団及び県から取得し、町で供用するものを除き同事業加

入者へ譲渡することになりました。消費税込導入で水道料引き上げ

四月から消費税が導入されることに伴い水道料金を四月一日から三割(消費税加算分)引き上げることになりました。

営林局から立木を取得

田代字深山地内山林のスギなどの立木(十九・六五畝)を環境保全、水源涵養などのため秋田営林局から取得することになりました。

団体営農道整備事業で若林地区の道路を整備

平成元年度から四年計画で、若林地区の道路が延長千七百十六メートル(車道幅員四メートル)にあたって整備されることになりました。

固定資産評価審査委員に長谷山誠一郎氏を再任

任期満了に伴う町固定資産評価審査委員会委員に長谷山誠一郎氏

(七五歳・下通)を再任しました。議員の定数を次期一般選挙から十六人に削減

町議会議員の定数(十八人)を、次期一般選挙から二人削減し、十六人とするにしました。

六十三年一般会計に四千三百万余円を追加

昭和六十三年一般会計予算に四千三百七十五万二千円が追加され、同予算の総額が二十六億九千七十九万五千円となりました。主な内訳は▼財政管理費二千万円



(ふるさと創生事業積立金)▼簡易水道特別会計繰出金四百四十万円減▼冬期交通対策費五百八十二万円減▼体育施設費三百八十八万円(大平スキー場へ繰出)▼立木購入費千七百七十七万円(千円未満を省略)

そのほか次の議案も可決

- 昭和天皇の崩御に伴う職員の懲戒免除及び職員の賠償責任に基づく債務の免除に関する条例の制定
- 一般職員の給与に関する条例の一部を改正する条例
- 町税条例の一部を改正する条例
- 国民健康保険税条例の一部を改正する条例
- 町立学校条例の一部を改正する条例
- 町有トラクター等使用料徴収条例の一部を改正する条例
- 財産の取得及び処分について
- 県営土地改良事業に対する費用の一部負担について
- 町道の認定について
- 町道の路線変更について

保育料の補助措置など7項目を要望

今議会における各常任委員会からの要望事項は次の通りです。

総務財政常任委員長の報告から

- シンボル塔、イメージマークに取り入れられている由利牛の里としての実態は、繁殖中心の現状で肥育牛との均衡を著しく欠いている。バランスのとれた畜産振興を

図るべきである。

- 保育料については、住民の平等意識を期するためにも、みどり保育園と永慶保育園の保育料が同額になるよう町の補助措置をもって均等を図るべきである。
- 良質米生産技術指導員の設置に

については、農協、県の農業改良普及所と連絡調整を図りながら、トラブルのないように実施すること。

- 総合開発センター裏の敷地については、建築後十年以上も経過している現状から活用を明確にし、早期に実現されるよう努めるべきである。

- 東由利町史は、無料頒布の方針のようであるが、その趣旨の徹底を図るべきである。
- 大平スキー場ヒュッテにトイレの設置を望む。

町民一人当たりの収入

平成元年度一般会計予算は二十六億三千七百四万八千円です。前年度に比べ約十一・三％、金額で二億六千七百九十六万九千円の大幅なアップとなりました。

今年度予算が大幅に増えた理由は、国の内需拡大策が前年度にも増して強化したため、公共事業の増加に伴い農林水産業費や土木費などが大幅に伸びました。特に道路の新設・改良などを行う土木費は、前年度に比べ二七・二％、約七千五百万円増えました。また、総務費が八塩地区開発計画の策定や温泉開発調査費などで、労働費が野球場の建設などで、農林水産業費が館合集会施設や緑地等利用施設の建設などでいずれも大幅に増えています。

町民一人に44万円

一般会計二十一世紀に向け、
26億3千万円
その使い道は？
今年度町に入ってくるお金と使われるお金は次の通りです。
表と図を見ながらお読みください。

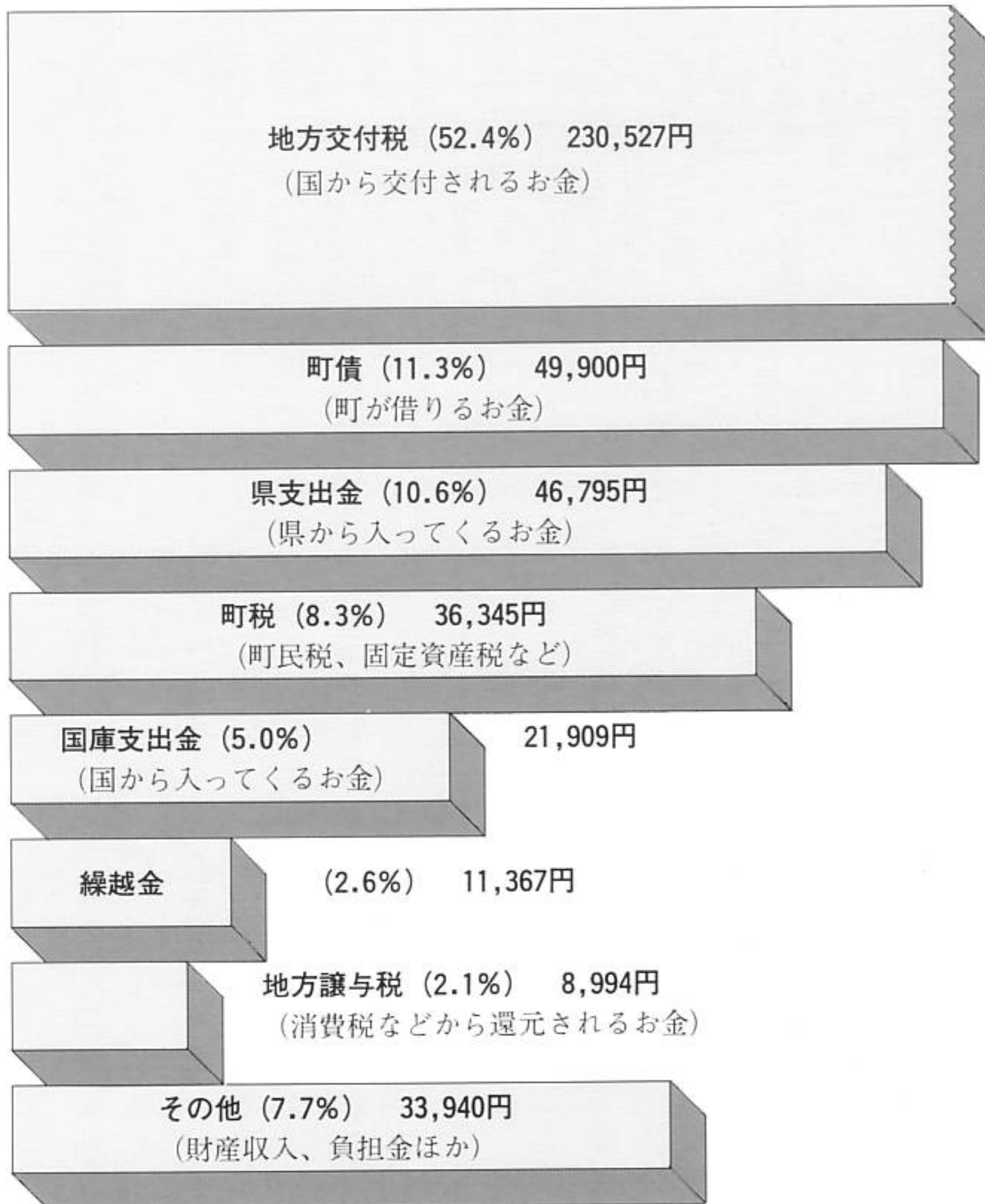
●平成元年度一般会計予算

〈収入〉 (単位=千円、△=減)

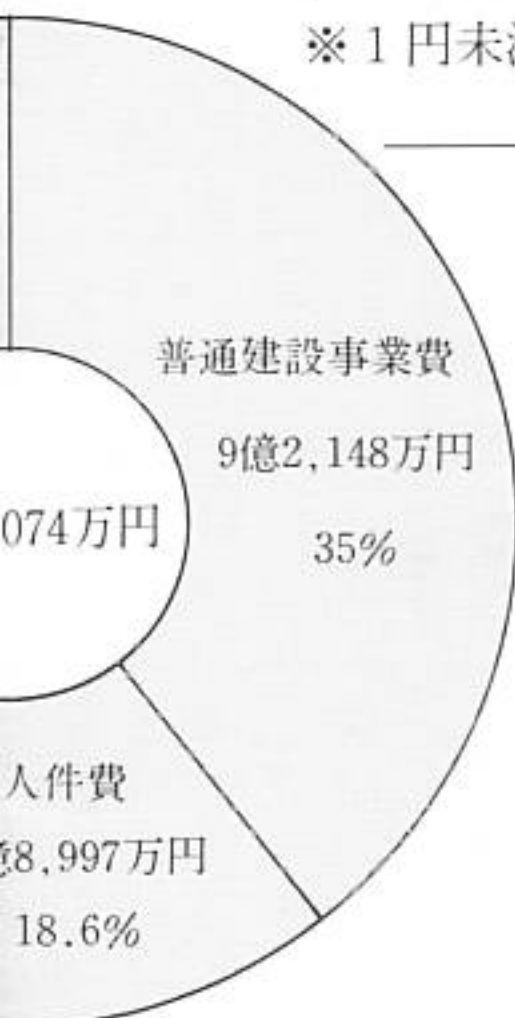
項 目	本年度予算額	前年度予算額	伸び率
町 税	217,417	223,124	△2.6%
地 方 譲 与 税	53,800	35,100	53.3
利 子 割 交 付 金	1,770	700	152.9
自動車取得税交付金	20,800	19,300	7.8
地 方 交 付 税	1,379,011	1,211,991	13.8
交通安全対策特別交付金	10	10	0
分担金及び負担金	47,998	28,264	69.8
使用料及び手数料	8,194	7,965	2.9
国 庫 支 出 金	131,062	124,308	5.4
県 支 出 金	279,925	287,243	△ 2.5
財 産 収 入	46,426	15,606	197.5
寄 付 金	10	10	0
繰 入 金	40,020	20,020	100
繰 越 金	68,000	68,000	0
諸 収 入	37,805	42,738	△11.5
町 債	298,500	278,400	7.2
収 入 合 計	2,630,748	2,362,779	11.3

〈支出〉 (単位=千円、△=減)

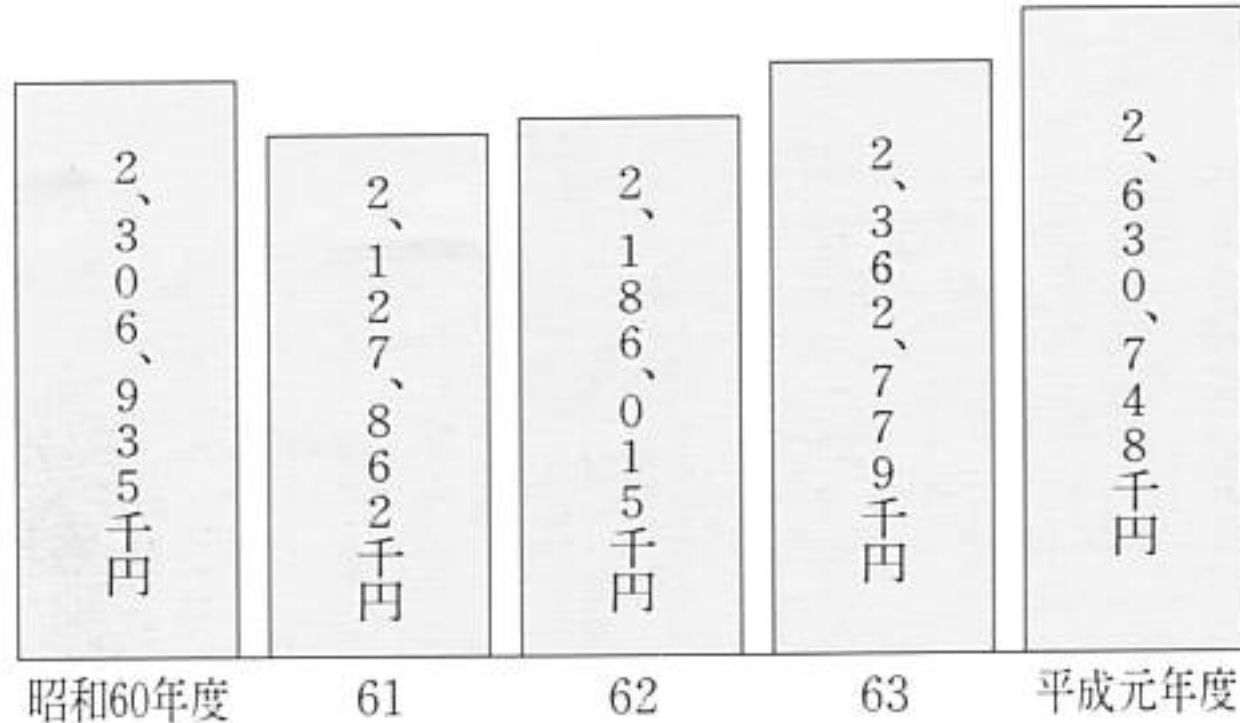
項 目	本年度予算額	前年度予算額	伸び率
議 会 費	66,663	61,951	7.6%
総 務 費	354,052	266,264	33.0
民 生 費	167,387	168,591	△ 0.1
衛 生 費	155,921	152,561	2.2
労 働 費	58,605	4,412	1,228.3
農 林 水 産 業 費	680,661	611,414	11.3
商 工 費	9,781	9,799	△ 0.2
土 木 費	351,274	276,176	27.2
消 防 費	101,636	109,496	△ 7.2
教 育 費	235,576	250,967	△ 6.1
災 害 復 旧 費	400	27,332	△ 6,733.0
公 債 費	445,682	420,706	5.9
諸 支 出 金	110	110	0
予 備 費	3,000	3,000	0
支 出 合 計	2,630,748	2,362,779	11.3



※1円未満四捨五入



●性質別予算の状況(一般会計)



●当初予算の推移(一般会計)

●平成元年度の主要事業一覧

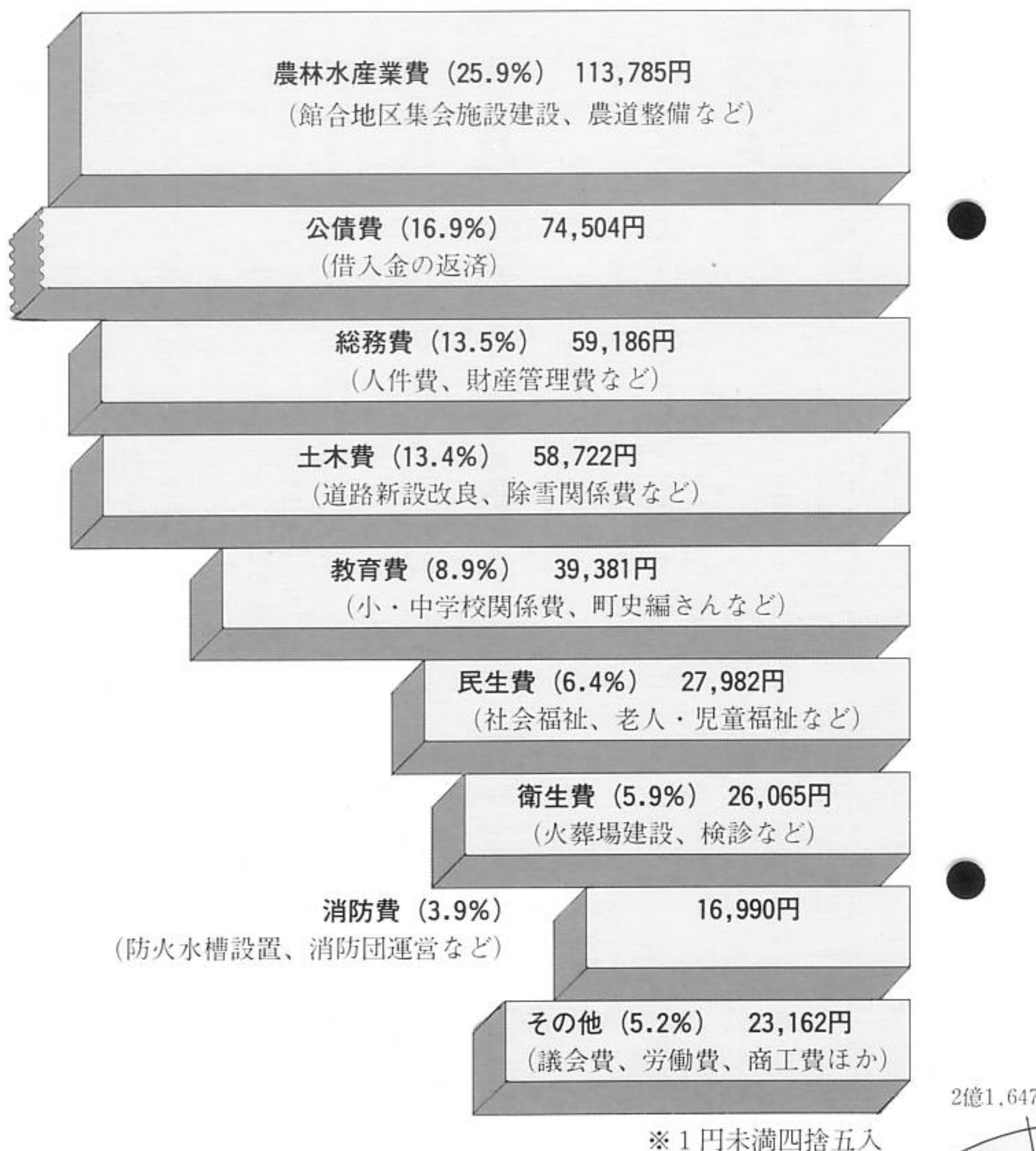
〈総務費〉		単位・千円
町政PR事業(町政ビデオ制作ほか)	1,881	
地域手づくり事業	490	
縁組世話人報奨事業	400	
防犯灯設置事業(20基)	570	
明日の地域を考える町民の会設置	170	
温泉開発探査事業	3,500	
八塩地区開発計画策定事業	4,000	
〈民生費〉		
身体障害者家庭奉仕事業	1,729	
重度身体障害者生活環境改善事業	750	
重度身体障害者移送費給付事業	315	
老人家庭奉仕事業	3,704	
長寿敬老祝金支給事業	870	
高齢、身体障害者居室整備資金貸付事業	9,500	
在宅老人デイサービス事業	934	
在宅老人短期保護事業	168	
高齢者サービス総合調整事業	201	
〈衛生費〉		
2歳児健康診査事業	228	
4歳児健康診査事業	140	
火葬場建設事業	3,200	
〈労働費〉		
勤労者体育施設(野球場)建設事業	54,230	
〈農林水産業費〉		
地域農業担い手経営能力向上推進事業	452	
地域農業整備促進事業	736	
野菜栽培振興事業	1,056	
農業後継者対策(学校農園ほか)	525	
特産物フェア開催事業	225	
良質米流通拡大対策事業	488	
水稻生産対策事業(稲作指導員設置ほか)	4,235	
拡大作目生産振興対策事業	500	
転作重点推進作物奨励事業	809	
産業道路整備事業(改良20件、維持12件)	5,500	
中堅農業青年対策事業(視察研修など)	673	
航空防除実施事業	600	
自給飼料貯蔵施設等設置推進事業	690	
肉用牛地域一貫生産推進事業	717	
肉用牛増頭対策奨励事業	3,300	
放牧場運営事業	3,541	
出羽丘陵開発実施推進事業	41,643	
農村総合整備モデル事業(館合集会施設ほか)	147,686	
第三期山村振興事業(緑地等利用施設ほか)	46,167	
地籍調査事業	29,512	
造林コンクール開催事業	554	
ふるさと出合いの森事業(基金積立など)	28,497	
林道新設改良事業(臼ヶ沢、土場沢ほか)	45,029	
〈土木費〉		
道路維持費(専用トラック購入ほか)	29,420	
道路新設改良事業(西山線舗道設置ほか)	249,733	
冬期交通対策事業	26,420	
〈消防費〉		
消防施設整備事業(防火水槽2基など)	8,925	
〈教育費〉		
中学校物置建築事業	3,128	
中学校大規模改修工事	2,558	
中学校サッカーグラウンドフェンス設置工事	4,260	
中学校寄宿舎営繕費	2,464	
町史編纂刊行事業	14,777	
家庭(地域)教育事業	190	
青少年教育事業	1,343	
婦人、成人、高齢者教育事業	747	
体力づくり事業	2,151	

町民一人当たりの支出

一人当たりに直すと四十三万九千七百七十七円になります。その内訳は下図の通りで、町税などの「自主財源」は全体の十七・七割、町民一人当たり七万七千八百七十八円となっています。一方支出では農林水産業費が最も大きく、町民一人当たり十一万三千七百八十五円となっています。

町税は一人3万6千円

ところでみなさんに負担していただく町税は、町民税、固定資産税、軽自動車税など、一人当たり三万六千三百四十五円で、前年度とほぼ同じです。これは収入全体の八・三割に当たりますが、収入一人当たり総額から町税を差し引いた四十万三千四百三十二円は、国や県からの補助金や町債などでまかなわれます。



●平成元年度特別会計予算 (単位=千円)

会計別	本年度予算額	前年度予算額	伸び率
国民健康保険	441,931	478,336	△7.6%
老人保健	316,461	326,901	△3.2
黒淵診療所	2,035	2,242	△9.2
簡易水道事業	126,425	129,740	△2.6
特別養護老人ホーム	122,759	117,016	4.9
大平スキー場	10,139	10,305	△1.6
玉米財産区	1,225	1,239	△1.1



特産物フェア—好評を博す

好評を博した特産物フェア—



「特産物フェア」を
開催しました。

これは「東由利町物産と秋田のうまいもの会」と銘打ち、あきたこまち、牛肉、漬物、スイカ糖、きなこもち、各種木工品、珪化木製品、桐こけしなど町の特産物のほかに、きりたんぽ、ハタハタずし、稲庭うどん、つくだ煮などが秋田のうまいものとして、協賛の形で即売されたものです。

町特産物の宣伝と即売のため、三月七日から十二日までの六日間、東京・池袋の大手デパート、三越池袋店で

抜いたのぼりを掲げ、東由利町を売り込みました。期間中会場には大勢の客が訪れたほか、事前にハガキなどで呼び掛けていたこともあり、首都圏在住の町出身者もたくさん顔を見せ、古里のかおりに浸っていました。

即売品の売り上げは、目標としていた七百万円（全体）を上回る八百六十万円余りとなり、予想以上の売れ行きに関係者は喜んでいきます。特に漬物の人気は高く全体の十割を占めました。また「東由利産あきたこまち」と、「東由利牛」として即売した牛肉は好評で、「あきたこまちと由利牛の里」としての町の位置付けが一步前進したとして関係者は自信を大きくしています。

町では結果等を分析しながら今後の開催に向けて準備を進めていくことにしています。

良質米栽培に助っ人参上

すけ

町では良質米栽培の指導体制を強化するため、良質米生産技術指導員を委嘱することになりました。農協など従来の指導員に加え、良質米栽培技術のアドバイザーを迎え入れるもので、同指導員には

農村通信社（山形県酒田市）稲作部稲作講師の丸山伸氏（36歳）を委嘱。今後育苗から収穫まで適宜、



丸山伸氏

現地や講習会などで指導を受けることになりました。丸山氏は山形県羽黒町に在住し水田三・八畝を経営する農家で、良質米多収穫の実践者として、また羽黒町農協稲作技術嘱託、農村通信社稲作講師として活躍。本町では今年度あきたこまち五〇〇、ササニシキ四〇〇の作付けが見込まれ、その栽培技術の徹底が大きな課題となっており、同指導員の活躍に関係者は大きな期待を寄せています。

技術指導員を委嘱

●畜産講演会●

自由化を勝ち抜け

町・東由利農協・由利農業共済組合主催の「畜産講演会」が二月二十八日有鄰館で開かれ、畜産農家ら二百人余りが参加しました。

講師は、社団法人中央畜産会指導部長の内藤廣信氏で、「国際競争時代を勝ち抜く肉用牛経営について」と題し三時間余りにわたり熱弁しました。講演要旨は次の通りです。

〈自由化の影響について〉

いままでは輸入牛肉が増えても実質的には和牛や乳雄（雄の乳用牛）などの牛肉価格には影響を与えず、小売価格帯を同じくする豚肉と競合関係にあったが、自由化となるとそうはいかないだろう。自由化により豚肉消費以上の牛肉が供給されるとすれば、必然的に乳雄と和牛とが競合してくる。自由化になれば「国産乳用種の少なくとも半値で入ってくる」との大手商社の見方もある。これにより乳用種枝肉の価格が急落し、一時的には肥育農家を苦しめ、結局は素牛価格を引き下げ酪農家の所得減につながる。

〈関連企業の動き〉

牛肉自由化の背景に実は日本の総合商社、食肉加工業者、外

〈国内対策について〉

牛肉の自由化対策で柱となるのは「子牛の不足払い制度」だろう。自由化で肥育経営が悪化し、子牛価格が暴落し、繁殖経



200人余りが参加した畜産講演会

「強健苗」で冷害克服を

育苗講習会を開催

冷害の克服は「強健苗」づくりにから...と、町農業総合指導センターでは良質米生産技術指導員として町が委嘱する丸山伸氏（農村通信社稲作講師）を講師に、三月二十日有鄰館で育苗講習会を開きました。丸山氏は、「今年は前年以下の気象が予測され、しっかりと下...」と、冷害の克服は「強健苗」づくりにから...と、町農業総合指導センターでは良質米生産技術指導員として町が委嘱する丸山伸氏（農村通信社稲作講師）を講師に、三月二十日有鄰館で育苗講習会を開きました。丸山氏は、「今年は前年以下の気象が予測され、しっかりと下...」と、

不順天候が予測される年には、特に留意しなければならない」と、基本技術の励行を訴えました。暖冬の影響で気象の変動から目が離せない今年の稲づくり。基本に忠実な稲作を進めたいものです。



「強健苗」づくりを学んだ育苗講習会

食産業など大企業の強い要望があった。これらは自由化に向け急ピッチで海外に生産拠点づくりを進めており、業務内容も牧場の買収、提携、肥育から処理加工までの一貫体制など全分野にわたっている。

（肉用牛繁殖経営の安定と所得拡大のための課題）

金十金利負担の負債増につながり、経営を圧迫し、安全性の面できわめて不安定な結果をもたらしているケースが多い。追加投資はできるだけ自己資金で行い、できる限り固定資産に対する投資は抑制する必要がある。

◎ 適正な飼養規模の拡大は一頭当たり要する労働時間の短縮につながり、労働力一人当たりの所得増加につながる。ただ、慎重な計画のもとに、経営者にとって確信と魅力のあるものでなければならぬ。安易な規模拡大は禁物。

◎ 遊休用地や転換畑の活用など粗飼料生産の拡大に努め、収量増大等生産調整技術の修得、コストの低減などからも可能な範囲で共同化に取り組む姿勢が必要である。

◎ 計画性のない借入金による投資・規模拡大は、結局は未払

◎ 分娩間隔の短縮、事故率の低下のためにも、適度な運動と日光浴の励行、発情周期一週間前からの二回以上の観察など、基本的な管理・技術の励行が必要である。

東由利歴史散歩

陣代が置かれた

田代

細矢亀代が地方支配



陣代が置かれたとされる田代地内

由利郡の中世において、初めて歴史に登場する人は由利維平です。由利氏の系譜には諸説があつて一定しませんが、後三年の役に源義家の家臣だった大中臣忠太郎良平が先祖で、その子維安が平泉藤原基衡に属して由利を領したことから、由利氏を称したということになります。

源頼朝が平泉の藤原泰衡を亡ぼした文治五年（一一八九）維平は、頼朝の面前に敗者として引き出されたが、機略と勇敢な態度をとったため本領を安堵したことが「吾妻鏡」に書いています。

この維平の前代と思われる時代について、阿部龍夫氏の「由利の面影」には、由利郡を十二に分けて統治した古伝が二通りあるが、豊岡城を中心にして八陣代と海岸四カ所に要塞を置き、軍事拠点として地方支配の出先機関を兼ねていたということ。古伝によると：

- 一、関ノ小国平太。
- 二、冬師台ノ冬師五郎。
- 三、田代ノ細矢亀代。
- 四、軽井沢ノ河内清若。
- 五、荒波ノ荒波小太郎。
- 六、黒瀬ノ内矢金五次郎。
- 七、桂根ノ二部剣太郎。

- 八、田原ノ真坂十郎。以上陣代。
- 九、汐越。
- 十、平沢。
- 十一、大野。
- 十二、羽川。以上四要塞で合わせて十二になります。

この十二の地名は、由利全体に分散しており、三の田代は大内町の田代と考えられると、古伝ではいっています。

また、同じ維平の時代に十二陣代が置かれたこともあり、その中に下村（旧下郷地区）の芦名太郎（平太郎）清氏の名があります。

話題いっぱい よちかどトピックス



優勝した秋田信英チーム

青年交流 スポーツ大会 にぎやかに幕閉じる

昨年十二月六日から今年二月二十六日までの夜間、八チームが出場し健康増進センターで行っていた青年交流スポーツ大会（バレーボール）の、決勝トーナメントが三月五日同センターで行われ、リーグ戦上位四チームが熱戦を展開しました。

結果は、優勝〓秋田信英、準優勝〓あきたこまち、第三位〓ポパイスポーツクラブで、この日長期間にわたる試合に幕をおろし、午後には有隣館で約五十人の青年男女が参加し、表彰式と交歓会がにぎやかに行われました。

交歓会ではチーム代表などから「今後も続けて…」 「レクなども組み入れて…」 「期間を考慮して…」 など、次期開催に向け意見が寄せられたほか、なごやかな雰囲気の中で会が進み、若い男女の楽しい交流の場となりました。

◇ ◇ ◇
出場チーム〓由利アパレル、大日向商会、蔵青年会、秋田信英、フォックス、TANUKI、ポパイスポーツクラブ、あきたこまち

発表会開き親睦を温め合う



町内の文化サークルが一堂に会し、日ごろの活動の成果を発表・展示し合う「東由利町文化サークル発表会」が三月十二日有隣館で開催されました。この日は発表部門でピアノ、コーラス、吹奏楽、民謡、舞踊など十サークル、展示部門で写真、俳句、短歌、書画など

六サークルが参加。活動の成果を発表・展示し合う中で互いの親睦を温め合う絶好の機会ともなりました。またこのほか研修部門として、講師を招いての写真技術、郷土史の講演会も開催。参加者は真剣なまなざしで聞き入り、旺盛な学習意欲を発揮していました。

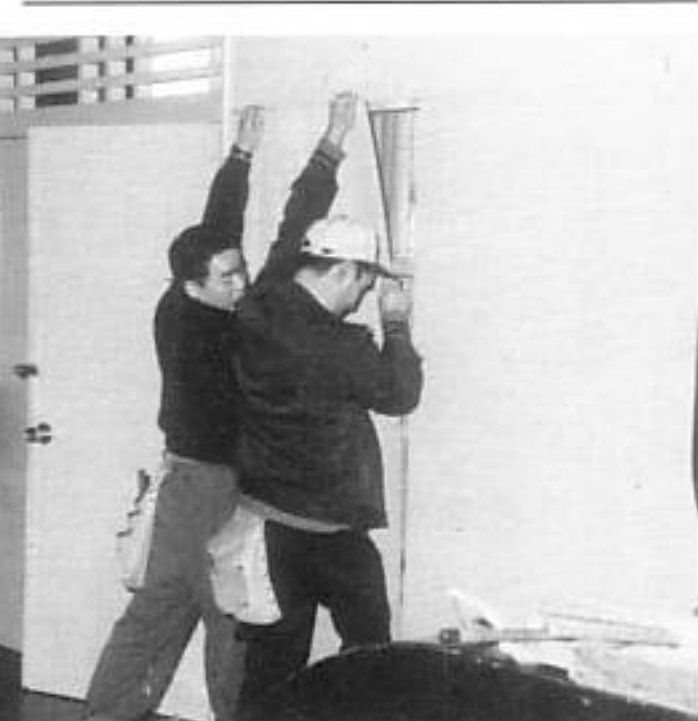


親睦を温め合う機会ともなった発表会

技能組合青年部が労力奉仕

まごころのこもった社会奉仕として毎年好評を博し、関係者から喜ばれている本町技能組合青年部（佐藤和彦部長）の労力奉仕作業が、このほど町内小・中学校の校舎や備品を対象に行われました。

今年も破損した校舎の壁や天井、棚、机、椅子などの修繕、塗装作業に二十人余りの部員が手分けしてあたり、合わせて四十件余りの物件を修繕。廃品同然の物件を見違えるほどに更生した部員たちに、先生や児童・生徒から感謝のことが送られていました。



壁の張替え作業に汗する部員（東中）

教職員異動

八塩小（敬称略）

【転出】▽校長・阿部辰男（退職）▽教頭・鎌田萬助（道川小）

▽高橋朗（西滝沢小）▽森明子（小出小）

【転入】▽校長・菊地徳右エ門（上川大内小）▽教頭・堀鐵三郎（県教委）▽三保忠（松ヶ崎小）▽安保純（新任）

高瀬小

【転出】▽真坂玲子（西目小）▽斎藤光正（鶴舞小）▽加藤正嗣（能代市日影小）▽養護・板垣綾子（横手市北小）▽講師・小野淳子

【転入】▽畠山輝雄（石沢小）▽三浦憲一（上浜小）▽木谷玲子（鶴舞小）▽佐藤健司（新任）

▽養護・三浦伸子（新山小）

大琴小

【転出】▽教頭・佐々木康三（前郷小）▽金山亨（直根小）▽伊東恵子（象潟小）▽中山広子（金浦小）▽講師・佐藤昭彦

同・今村聡▽同・木内由幸

【転入】▽教頭・安保誠（西目中）▽田口綾子（平沢小）▽太田由起子（鮎川小）▽斎藤暁（鶴舞小）

東由利中

【転出】▽校長・笹本信也（退職）▽湯田健三（同）▽中津川辰夫（直根中）▽青木栄子（退職）▽三浦敏弘（石沢中）▽斎藤勉（象潟中）▽本間一恵（北

眠っている「鯉のぼり」ゆずって…

昨年「黄桜まつり」(5/4～5/15)の会場で、八塩ダムの湖面を横断



する、たくさん鯉のぼりがあげられたのをご存じですか。とても優雅な光景でした。あれは八塩山麓会(長谷山光会長)が黄桜まつりの名物に…とボランティアで行ったもので、鯉のぼりは町民のご協力により集められたものです。同会では今年も会場に鯉のぼり

りほとんど返してしまつたため、またお借りしなければならぬとされています。できれば、今後黄桜まつりの名物として継続していくために、ぜひ譲っていただきたいとしています。不用になった鯉のぼりをお持ちの方がおりましたら、次までご連絡をお願いします。



優雅におよぐ鯉のぼり(昨年の黄桜まつり)

佐々木青洋氏から掲額届く



社協にライトバン贈られる



本町蔵出身の書家・佐々木青洋氏(本荘市・写真左)から、このほど役場にりっぱな掲額が届けられました。「お世話になったことへのお礼と愛する古里への思いを託して…」と贈られたもので、掲額には「不易」(かわらず)と書かれ、佐々木氏の古里を愛する思いが込められています。佐々木氏は現在、毎日現代書展審査員などのほか聖霊女子短期大学、秋田大学などの講師としてご活躍中です。

NHK・秋田県歳末助け合い運動による在宅福祉推進車両の配分で、このほど町社会福祉協議会に県社会福祉協議会からライトバン一台が贈られました。車はカラー・デイズェルバンで、町内の一人暮らし老人への弁当の配達、ねたきり老人などへの生活用具等の運搬、また通院介護の際やホームヘルパーの訪問活動などに活用されます。

小松さん 今年もホットな贈り物



新入学児童九十三人へ…と、湯出野出身で千葉県安房郡白浜町に住む小松隆二さんから、今年も児童一人ひとりの名を刻んだ、鉛筆一ダースずつが、町の教育委員会に届けられました。教育委員会では、「ホットな贈り物をいつもありがとうございます」と礼状を発送。プレゼントの鉛筆は入学式当日の四月四日、各小学校の担任から児童一人ひとりに手渡してもらおうことにしています。

保護司の畑山、五十嵐氏が表彰



五十嵐宗憲氏

畑山寅松氏

本荘地区の保護司として昭和四十六年から管内青少年の保護・更生活動に携わっている畑山寅松氏(下吹)が、長年にわたる活動実績などを評価されこのほど東北地方保護司連盟会長から表彰されました。また同保護司として昭和六十年から活動されている五十嵐宗憲氏(上通)が、秋田県保護司連盟会長から表彰されました。お二人ともおめでとうございました。

中)▽主事・伊藤悟(川内小)▽講師・佐藤健司▽同・関口啄也【転入】▽校長・河本正徳(矢島中)▽小川忠太郎(南中)▽小嶋裕(北中)▽松橋隆(大内中)▽畠山純(平鹿醍醐中)▽宮野利之(新任)▽太田静子(同)▽事務長・佐々木文一(金浦小)

教育研究所に畠山教諭赴任



畠山輝雄教諭

町教育研究所(畑山昭一所長)に専任の教諭が配置されることになり、四月一日付で石沢小学校から畠山輝雄教諭(西目町)が赴任します。同研究所は本町学校教育に関する調査・研究及び教職員の研修等を行う機関で、昭和五十四年に設置されていますが、専任の教諭が配置されるのは初めてで、今後本町の学校教育の振興に大きく貢献するものと期待されます。

畠山忠八氏(寺田)が逝去

寺田出身でミツボシ衣料(株)(東京)取締役の畠山忠八氏(六六歳)が三月二十一日急逝されました。故・畠山氏は昭和五十四年創業の由利アパレルの創始者で、本町に多くの寄付行為をされるなど貢献をされました。ご逝去いたみここに慎んでご冥福をお祈り申し上げます。

み

ん

な

の

ひ

ろ

ば



舟木・長谷山 真平ちゃん(長男)・一歳
順一さんと真里子さんの長男・次男
「双子の慎平(左)と慎司(右)。一歳の誕生日も過ぎスクスク育っています。真平は小柄で甘えんぼう。慎司は大柄でかんばん。上の子もまだ小さく家の中は三人の子供でてんやわんや」と祖母の禎さん。



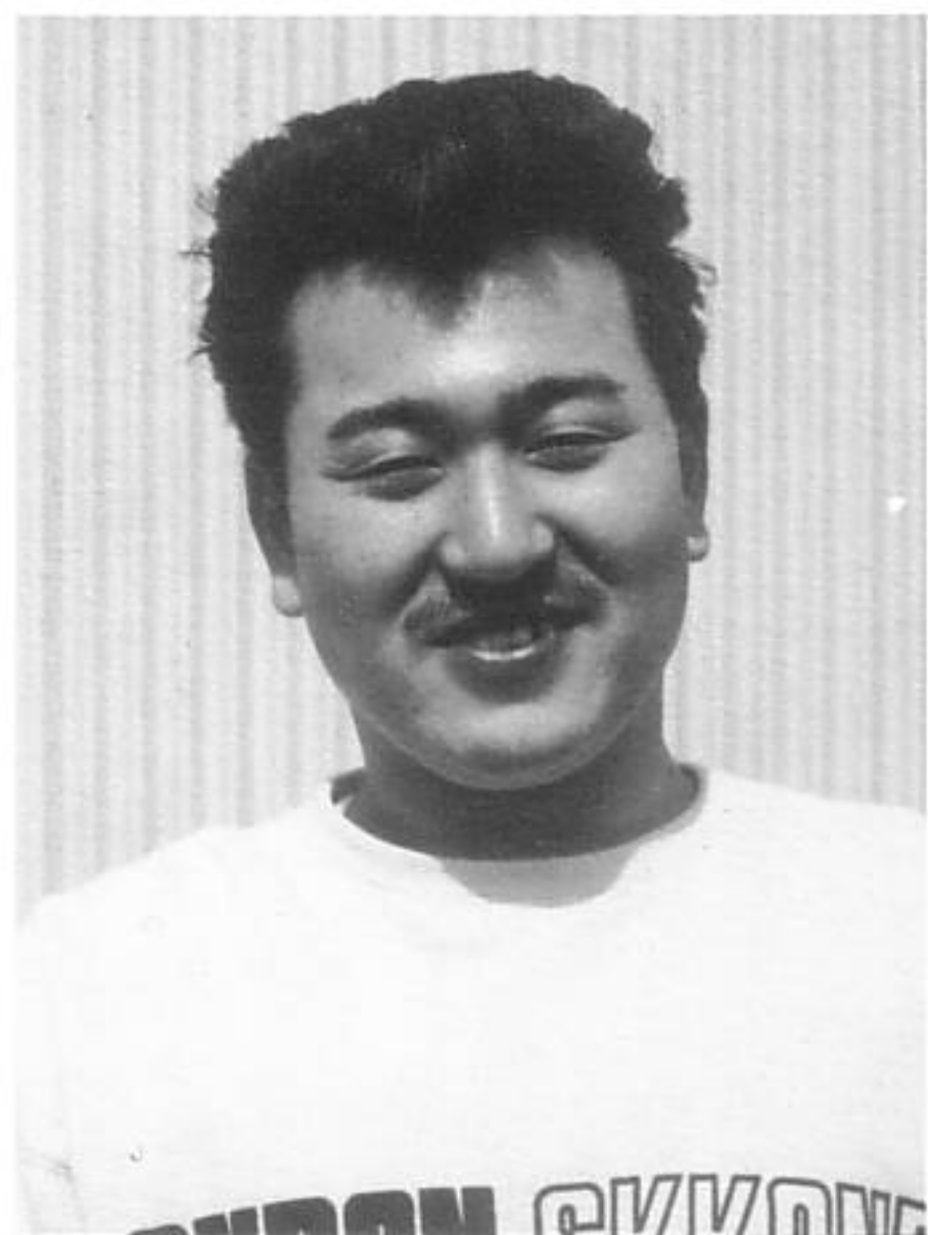
インタビュー

人間と一口にいても様々なタイプの人間がいるもので、第一印象でその人間を判断する場合雰囲気性格につながるような気がし

ます。彼の場合その面で見ると、良い方に働いているような感じを受けました。質問に対する姿勢や常に笑顔を保つことも印象

ヤングレポート

加藤 俊明くん (21歳)
湯出野・佐藤食品勤務



象を良くしている気がしました。「音楽が好きです。コンサートの空気も。特に昔からあこがれていた矢沢永吉を見たときの感動ときたら……。あれが今までで一番の思い出です。でもあの感じって日常生活ではなかなか体験できないので残念です。それが不満といえば不満かな。とは言っても生活自体には特に不満はないです。支えてくれる友だちに恵まれていますからね。いつかそんな友達と旅行したいです」との事。将来については自分が四人兄弟の末っ子なのだけれどゆくゆくは家を継ぐことになるでしょうとポツリ。今は特に結婚は考えていないですが、いつかは浅野温子タイプの女性と純愛したいですねと最後まで笑顔で話してくれた俊明くんでした。

東由利の文芸

ゆりかご句会 (三月句会から)

◆啓蟄や笑む子に乳歯生えそむる
小松メサコ (下小路)

◆啓蟄や山合我が村動きだす
鈴木要 (沼)

◆啓蟄や付添う妻と車椅子
佐藤正義 (湯出野)

◆啓蟄や家新築の地割杭
小松徳蔵 (湯出野)

◆啓蟄や新味噌の封を切る
高橋ヒデ子 (横渡)

◆啓蟄や田の面を歩く鳥一羽
遠藤モトミ (新処)

◆無口でも通づる夫婦春炬燵
阿部澄子 (蔵)

◆抱きし子の胸蹴る力春炬燵
鈴木要 (沼)

◆日曜日これもあるかと春炬燵
佐藤正義 (湯出野)

◆春炬燵かすか川鳴りうとうとす
遠藤トミ子 (小倉)

◆振子鳴る音ばかりして春炬燵
小笠原トミ (蔵新田)

◆春炬燵飽くなき絵本読まざる
高橋ヒデ子 (横渡)

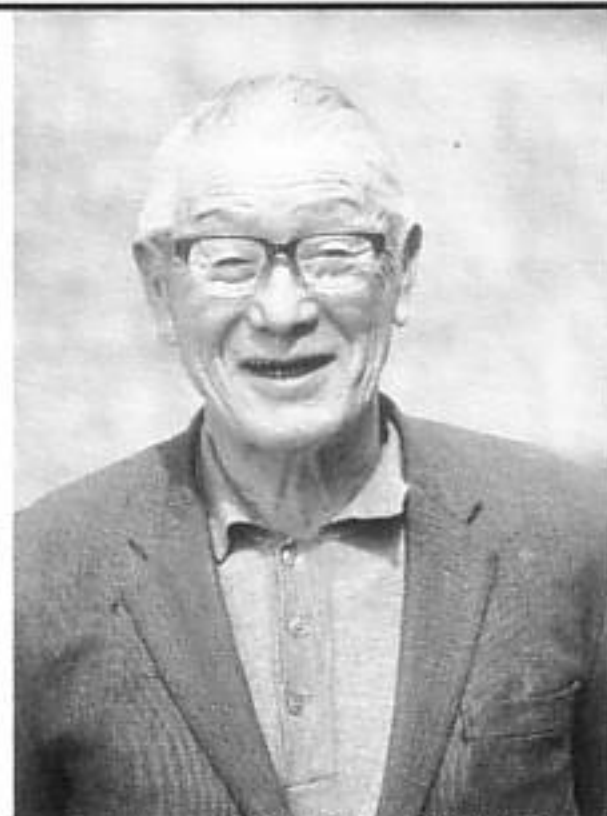
◆羊かんが一切れ残り春炬燵
小松徳蔵 (湯出野)

古き心を伝える ふるさとに 生きる詩

お山こ三里

小倉・遠藤猪一郎さん(76歳)

「春が来たとして野山の草も 思い
思いの花が咲く (お山こ三里々々)
へお山越えればまた山続く いつ
か我が家に帰るやら



春先の木々の芽がふくらみはじめると、まだ残雪のみられる水田に入り、クロ(畔)ぬり、田打ちと忙しい季節となる。
泥しぶきよけの鍬ざるを付けた鍬の、鍬先で掘り起こされた黒い土から、春のめざめを感じる。
白いこぶしの花の匂いは山すそを包んでいる。
一服のひとときに口ずさんだ、のどかなこのうたを、春が来れば思い出す。

絵・石渡力造さん



子からホンネ本音親から



大琴小四年・小笠原美喜さん

私は科学クラブに入っています。なぜかというと、実験がとってもたのしいからです。そして私は図工がとくですが、算数にはがてです。でも、算数はだいたいな勉強なので、五年生になったらいっしょうけんめいがんばりたいと思います。私のお母さんはがんばりやで、とてもやさしいです。だから私はお母さんが大好きです。五年生になったら、お手伝いをして、お母さんをらくにしてあげたいと思います。



土場沢・小笠原孝子さん

いよいよ五年生ですネ。これまで大きな事故もなく無事に育ってくれたことをとてもうれしく思います。そして、食べ物好ききらいがないせいか、体もじょうぶで、何よりも助かります。またお手伝いもよくやってくれます。欲をいえばお姉さんともう少し仲良くしてくれたら…。

特産物フェアに感激

東京都永川町・深川ユキさん
(館合新田出身・60歳)

ふるさとのみなさん、お変わりございませんか。東京は足立区の永川町からお便りしております。

記録的といわれる暖冬の影響で、東京の春の訪れはいつもより早く、上野公園では早咲きの桜が三月中旬には咲き始めました。その上野へと先日(二十六日)、上京してから初めてのことで、同郷の友人たち七人で花見見物に出掛け

ふるさとを想う 13



ました。久々のふるさと談議に時のたつのも忘れ、一次会とどまらず二次会、三次会へと…。それはそれは楽しく、いつになく故郷の尊さが身にしみた一日でした。さて過日「特産物フェア」のご招待をいただき早速行ってまい

りました。名の高き一流デパートの一角に故郷の産物がところ狭しと並べられている様を見て、感激で息がつまりそうでした。特に私が懐かしくすぐに手が出たのは、シソの実の漬物で、とてもおいしく賞味させていただきました。またサーブスでいただいた「あきたこまち」は格別の味で、本場米どころの感を強くし心強ささえ覚えしました。あまりの感激に期間中は二度も足を運び、漬物、米、牛肉などを買求め、いまなお冷蔵庫の片隅に大事にとってあります。聞くところではこのフェア今後も続けられるとか…。ますますのご盛会と、町のご発展を心から念じております。

みんなの健康

運動メニ

暮らしの中に「運動メニュー」をつくりませんか

仕事や生活環境の変化で私たちの体は長い間変則的な使い方をしているため、肩こり、腰痛、肥満、不眠、便秘など様々な症状を招いているようです。最近、町でも増えてきている肥満は、「成人病の温床」といわれていることを知りながら、多くの人がそれほど危機感を感じていないように思われます。運動量が少ないのに食欲にまかせてドカ食いしたり、空腹を感じないまま孫の残したおやつがもったいないとか、手持ちぶたさからつい甘い飲食物に手を出してはいないでしょうか。

太りすぎは、標準体重より越えた分だけ荷物を背負っていることになるのですが、心臓は「負担だ」ともいわずだまって黙々と働いています。人生八十年時代、ボケもせず寝たきりにもならず、健康で長生きするためにも、標準体重を維持することが大切です。運動不足を嘆き「そのうち、いつかは」と思いつつ、「気がついたら成人病」ということにならぬよう、家族みんな運動習慣を身につけたものです。

(保健婦・伊東志津子)

楽善

「雑草のようにたくましく」とよく言われますが、雑草と言う名前の草はないそうです。目立つほど能力はなくても、懸命に頑張っている人や、たとえ失敗してもこりずにやり直す人を、このようにたとえているようですが、私はこんな人がとても好きです。

随想スポット

私の出番



下通 長谷山誠明さん

しまうことが多いようです。ありがたさと感謝できる人はまた他の人へ報いようと心がける。このように考えられる人は、いつも生き生きしています。

また、何かをしようとするとき、その物事を分析する能力は優れていても、ひっくるめてこうだという大づかみの判断を先にしておかないと、その大きさに呑み込まれてしまい、名案が浮かんでこなくなるということがあります。つまり大局をつかんでおいてから核心に迫ることが大事だと思います。



郷土の野草

文・写真 小松忠正

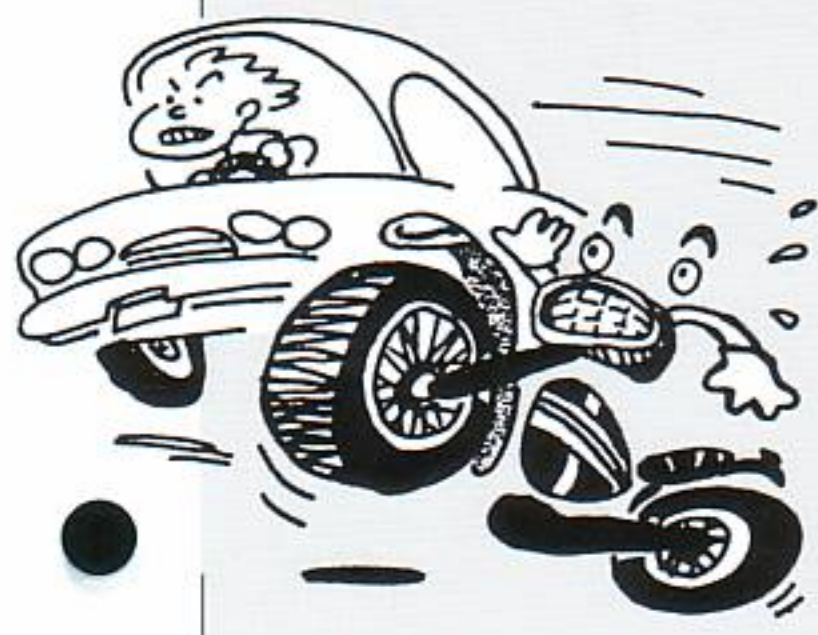
49 フクジュソウ (キンポウゲ科)

全国に自生する多年草で、本町にも方々に群生地があり、早春黄金色の花を誇らしげに開いている風景は、まさに春の訪れを謳歌しているかのようです。茎は十センチで直立し枝分かれします。花期の根茎は短く暗褐色、根に近い葉は膜質のサヤ状で、上部の葉は三、四回羽状に裂け複葉です。江戸時代、正月にも花があることから元日草ともいわれ、花期の長いこと、黄金色の花から幸福と長寿の草としてこの名があります。

3月★町のミニ統計

- 人口()は前月比
- 男 2,928人(△7)
- 女 3,045人(△2)
- 計 5,973人(△9)
- 世帯数 1,437戸(△2)
- ()は1月からの累計
- 出生5人(10) ●死亡6人(9)
- 転入1人(4) ●転出7人(14)
- 結婚0組(0) ●離婚1組(1)
- 火災0件(0) ●救急車出動6件(14)
- ごみ処理量 27t(59)
- 交通事故1件(1) ●死者0人(0)
- 傷者1人(1) ●飲酒運転3人(3)
- 酒気帯び1人(1)

4 町民 カレンダー



春の全国交通安全運動
(4月6日～15日)

善意

町社会福祉協議会に阿部蔵次さん(高村)、大庭時雄さん(舟木)、畠山淳悦さん(袖山)から金一封のご芳志がありました。
ありがとうございます

町民カレンダー

ピックアップ



町心配ごと相談所は昨年十月に開設以来、予想以上にたくさんの方から利用されています。今年度も原則として第一、第三木曜日の午後、朋楽荘で行われます(その都度役場通信で案内)。幸福で豊かな生活のためには、まず心配ごとをなくするのが一番。相談は無料ですので、お気軽にご利用ください。親切に応じます。

戸籍だより

(21～20届出・敬称略)

●お誕生おめでとう

- 2/13 小野 桃枝(悟) 長女 時雨山
- 2/21 大庭 陽(正一) 長女 舟木
- 3/2 畠山 寛規(正志) 二男 茂沢
- 3/6 畠山 絵里(昭一) 長女 上通
- 3/13 八嶋 利之(俊子) 二男 黒淵

●ごめい福をお祈りします

- 2/20 畠山アキミ(86・正博・祖母) 館合新田
- 2/26 阿部豊治郎(73・ハツエ・夫) 高村
- 2/27 大場 忠雄(50・フサ子・夫) 山崎
- 3/1 三上 多助(86) 蔵
- 3/6 阿部 倖悦(47・トヨミ・夫) 大琴
- 3/8 大庭 キヌ(93・時雄・母) 舟木
- 3/12 森川 ヤス(89・イク・母) 横小路
- 3/13 小野サクノ(86・長兵衛・母) 宿

町民の声を町政に！ 町長の面会日 今月は20日

日配布

- 20・心配ごと相談所
- 23・農業委員選挙
- 24・愛育会総会(13時) 有隣館
- 26・乳児検診(13時) 朋楽荘
- 27・自治会長会議(予定)
- 30日・大防火防止訓練(老方地区)

原因は「たばこ」の 不始末！ 山火事に注意

今年の冬は雪が少なく、山菜のシーズンが早くやってきました。このため、これからは山に入る人の数が増え、山火事の危険性も高まります。

一昨年は全国で四千件を超す山火事がおき、約三十六億円もの損害が出ました。

山火事の原因は主にたばこの不始末です。山に入ってから喫煙するときは、すいがらに十分気をつけ、火が完全に消えたことを確かめてから移動しましょう。

編集室から

▼異動の季節。役場職員も二十七日に内示が出され十三人の異動が決まりました(当広報担当は流忍です。今年度もよろしく)。内容は「職員配置図」を含め広報号外でお知らせします。

▼今号は町長の施政方針説明から今年の町づくりや予算についてお知らせしました。「文字が多くて読みづらい」などと聞こえてきそうですが、町が歩む今年の道です。ぜひ一読ください。▼「みんなのひろば」など紙面の一部を変えましたが、いかがでしたか。率直なご意見をお寄せください。▼いよいよ平成元年度の始まりです。新年度も何かと忙しそうな気配です。やっと四月号を発行したと思いきや町政読本「今年の町づくり」の編集作業が待っている。来年度の異動に期待して、頑張ろう。